

概 況

『子どもの時代に子供らしい体験を重ねること、四季折々の変化を体で感じながら心を耕していくことは、人間が成長していく上で欠かせない貴重な財産であるに違いない』

この財団設立の“人づくり”の理念の基、定款第4条第1項1号に掲げる公益目的事業は、“かけがえのない自然を、人間の知恵で、後世に永く残せるように、何をなすべきなのか”を子ども達と共に考える自然体験活動「子どもまちなか生き物塾」を守屋 開先生を総合コーディネーターとして実施しました。

併せて、普及活動の一環としての『デジタル博物館』〔青山慎一先生の子ども世界の昆虫館〕は、WEB公開を始めてから4年が経過し、公開標本箱数1000箱、公開標本点数84443点を数えました。

これらの活動について、北海道新聞の取材を受け、自然体験活動の様子は「札幌の川で生き物探し」の見出しで紙上及び〈どうしん電子版〉では動画として紹介されました。

又、昆虫館については、インターネット上の「デジタル博物館」昆虫9万点ネットに博物館の見出しで、夕刊一面のトップニュースとして全道版で報道されました。他に共同通信の取材も受け、その配信記事が新デジタル毎日に掲載されました。

その他、国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）にて当財団のWEB情報も収集・保存・公開されております。この記録された内容は百年単位、千年単位にわたって利用できる状態で保存されるとのことです。

詳細は第1 平成29年度 事業の状況のとおりです。

第1 平成29年度 事業の状況

1、定款第4条第1項1号に掲げる事業は、次により行った。

●自然体験活動（公益目的事業1）

（1）「子どもまちなか生き物塾」

①活動名

○オリジナルバージョン ～精進川の水生生物と命のつながり～

精進川の自然に遊んで科学する！（自然遊）

精進川の源流から川の一生を体験しよう！（川一生）

○スペシャルバージョン ～海の日スペシャル

磯遊びをとおして生命進化の神秘を探る！（磯遊び）

②活動日

日帰り型	活動日
O/自然遊	7月29日
O/川一生	9月3日
S/磯遊び	7月17日

③募集対象

- ・小学生、中学生、保護者
- ・小学3年生以下は保護者同伴が必要

④募集地区

- ・札幌市

⑤募集方法

- ・札幌市内小学校へのチラシ配付

⑥名義後援・協力

- ・O/自然遊 後援 札幌市、札幌市教育委員会、
中の島魅力ある地域づくりの会
協力 札幌市立中の島小学校、中の島一区第3町内会
- ・O/川一生 後援 札幌市、札幌市教育委員会、
中の島魅力ある地域づくりの会
協力 札幌市立中の島小学校、中の島一区第3町内会
- ・S/磯遊び 後援 札幌市、札幌市教育委員会
協力 中の島一区第3町内会

⑦参加者数

塾名	参加人数			計画人数		
	子ども	大人	計	子ども	大人	計
O/自然遊	22	7	29	30		30
O/川一生	24	6	30	30		30
S/磯遊び	24	8	32	30		30
合計	70	21	91	90		90

※O/自然遊は、札幌市内小学校 15 校から参加

※O/川一生は、札幌市内小学校 17 校から参加

※S/磯遊びは、札幌市内小学校 13 校から参加

⑧事業費

・ O/自然遊		予算
事業費計	196,813 円	246,430 円
(内、子どもゆめ基金助成金	152,000 円)	
(参加費収入	0 円)	
・ O/川一生		
事業費計	282,383 円	317,837 円
(内、子どもゆめ基金助成金	202,000 円)	
(参加費収入	0 円)	
・ S/磯遊び		
* 事業費計	338,109 円	350,537 円
(内、子どもゆめ基金助成金	213,000 円)	
(参加費収入	0 円)	
* 事業費総合計	817,305 円	914,804 円
(内、子どもゆめ基金助成金	567,000 円)	
(参加費収入	0 円)	
(自己資金	250,305 円)	

⑨活動場所

活動名	活動場所
O/自然遊	豊中公園沿い精進川、中の島小学校理科室
O/川一生	精進川源流（最上流域）から下流域まで
S/磯遊び	忍路海岸、北大忍路臨海実験所

⑩主な活動内容

活動名	活動の目的やねらいを達成するための具体的なプログラムと主なポイント	
O/自然遊	ねらい	街中を流れる精進川やその河畔林に生息する生物の観察・採集や環境調査・土壌採取をとおして、自然界の仕組み（命のつながり）や河川生態系について学び、かけがえのない自然を後世に永く残せるように、何をなすべきなのかを考えます。
	水生生物の観察・採集	精進川の水生生物を採集し、ルーペ等を使用してどんな水生生物が生息しているのかを観察します。
	河畔林の環境調査・土壌採取	対岸にある精進川河畔林の環境調査（気温・地温・水温・pH・湿度）と合わせて木の葉採集・動物採集・土壌採取を行います。
	生物の分析と同定、解説	採取した土壌を簡易ツルグレン装置を使って土壌動物採捕や採集した生物等を顕微鏡等を使って同定作業を行うと共に、守屋講師の『精進川の水生生物と命のつながり』についての解説。
O/川一生	ねらい	サクラマスの上流も確認されている街中を流れる精進川の源流部から下流域までを探索しながら、豊平川の支流としての「川の一生」を体験します。河川の上流から下流にかけて、水質や生息生物も変化することを確認し、環境に適応して生息する生物について学びます。
	環境調査及び「川の一生」体験	上流域（源流部）、中流域、下流域の環境調査（気温・水質・流速流量等）をして、その違いを確認しながら「川の一生」を体験する。
	水生生物等の採集	上流域、中流域、下流域、それぞれの水生生物の採集や樹木や草木の違いを観察し、環境の違いにより生物の生息状況も変化することを確認する。
	カワシンジュガイの学習	精進川において絶滅が確認されたカワシンジュガイの生息していた森林溪流を観察し、カワシンジュガイの生息環境条件を確認しながら、サクラマスとの関係について学び、絶滅した原因について考える。

S/磯遊び	ねらい	生物の種類の多様性について、採集体験をしながら学習します。海に棲んでいる様々な生き物を観察し、採集した生物を顕微鏡等を使って観察・同定（種類を調べる）作業をしながら、この地球上にいる生物の多様性がいかに必要か視野を広げます。
	磯採集	忍路の浜で磯採集（巻貝や二枚貝、イソギンチャクやヤドカリ、クラゲ、カニや小魚、プランクトン等）
	採集した生物等の同定	採集した生物を顕微鏡等を使って観察・同定
	分類パズル、飼育方法解説、生命進化のお話	守屋講師による分類パズル、飼育方法の解説、生命進化についてのお話

⑪講師・指導者数

活動名	外部講師・指導者等	財団講師・指導者	計
O/自然遊	3+2	2	5+2
O/川一生	3	4	7
S/磯遊び	4	4	8
合計	10+2	10	20+2
備考	+2 は協力者		

⑫講師・指導者名

・O/自然遊

主任講師	守屋 開	総合コーディネーター、 札幌市青少年科学館専門職 元札幌旭丘高校長
外部講師	吉成 孝志	元中の島小学校教諭
外部指導者	向 俊孝	中の島地区児童委員協議会長
財団指導者	寺田 一仁	理事長
財団指導者	佐藤 勝信	常務理事事務局長
外部協力者	向 良子	中の島一区第3町内会
外部協力者	高橋 清子	中の島一区第3町内会

・O/川一生

主任講師	守屋 開	総合コーディネーター、 札幌市立青少年科学館専門職 元札幌旭丘高校長
外部講師	梅原 宏之	日本理化学協会

外部指導者	向 俊孝	中の島地区児童委員協議会長
財団指導者	寺田 一仁	理事長
財団指導者	岡田 祐一	理事
財団指導者	嶋田 肇	理事
財団指導者	佐藤 勝信	常務理事事務局長

・S/磯遊び

主任講師	守屋 開	総合コーディネーター、 札幌市立青少年科学館専門職 元旭丘高校長
------	------	--

外部講師	高桑 純	日本生物教育会
外部指導者	向 俊孝	中の島地区児童委員協議会長
外部指導者	齋藤優美子	看護師
財団指導者	寺田 一仁	理事長
財団指導者	岡田 祐一	理事
財団指導者	嶋田 肇	理事
財団指導者	佐藤 勝信	常務理事事務局長

⑬募集案内配付箇所及び枚数

配付先区分	学校数	配付枚数
札幌市内小学校	76	19,886
予備、他		114
合計	76	20,000

⑭その他

ア、申し込み手段にインターネットを導入

インターネット	49人 (66%)
ファックス	24人 (32%)
電話	1人 (1%)
計	74人
その他	5人 (迷惑メールに仕分け)

(2) 自然体験学習の普及に係る情報発信活動

①青山慎一先生の子ども世界の昆虫館

ア、公開標本箱数

年度	チョウ	ガ	コウチュウ	ザツチュウ	計
平成 26 年度	200	0	0	0	200
平成 27 年度	253	42	0	0	295
平成 28 年度	149	30	58	53	290
平成 29 年度	159	56	0	0	215
合計	761	128	58	53	1,000

イ、公開点数

種類	チョウ	ガ	コウチュウ	ザツチュウ	計
点数	48,789	10,944	17,555	7,155	84,443

ウ、事業費

謝金	50,000 円
委託費 更新料	328,752 円 (19,440 円×12 ヲ月)
計	378,752 円

②自然体験活動の様子紹介

<活動のようす>をスライド及び動画にて紹介

(3) ホームページ訪問者数調べ (平成 30 年 3 月 29 日 13 : 00 現在)

ア、ホームページトップページ表示

訪問者数 11,831 人

イ、ダッシュボード

①クイック統計

最近の 365 日

訪問者	22,009 人
訪問	93,588
一人当たり	4.25

②ページ訪問数ベスト 5 (最近の 1 年間)

1	子ども世界の昆虫館	2,459
2	子どもまちなか生き物塾	588
3	ご寄附のお願い	298
4	塾長紹介	280
5	募集終了	137

(4) その他

ア、北海道新聞社による取材

①7月29日 O/精進川の自然に遊んで科学する！

編集局 写真部 記者 金田 淳氏による1日密着取材

7月31日夕刊に掲載

活動の様子を「どうしん電子版」動画にて公開

②9月19日「青山慎一先生の子ども世界の昆虫館」の取材

記者は①と同じ

10月10日道新 石川記者から電話にて取材

10月10日夕刊一面に

〔昆虫9万点 ネットに博物館〕の見出しで掲載

イ、共同通信による電話取材

①新デジタル毎日 (2017.12.6)

昆虫標本 9万匹、HPで順次公開

半世紀かけ収集 「多様性感じて」／北海道

ウ、国立国会図書館インターネット資料収集保存事業 (WARP)

保存日 2017/9/20 (info:ndljp/pid/10955613)

2016/9/20 (info:ndljp/pid/10197416)

2015/10/19 (info:ndljp/pid/9518917)